

南あわじ市議会発第60号
令和2年6月26日

南あわじ市新型コロナウイルス感染症対策本部長
(南あわじ市長) 守本 憲弘 様

南あわじ市議会災害対策支援本部長
(南あわじ市議会議長) 熊田 司

新型コロナウイルス対策に関する要望事項について

新型コロナウイルス対策に関し、取り急ぎ対応いただきたい事項をまとめましたので、次のとおり提出いたします。

記

1. 経済対策について

- (1) 6月19日に県境をまたぐ移動が全国で制限解除され、徐々に観光客が戻ってきている。市内の経済の回復に向けて、早期に市外観光客の誘致施策を実施すること。また、明石海峡大橋と大鳴門橋の通行料金の無料化を国・県へ要望すること。
- (2) 新型コロナウイルスの影響で深刻な打撃を受けている観光需要を喚起するため政府が実施する「Go Toキャンペーン」の実施に併せ、南あわじ市に観光客を呼び込むため、海水浴場、キャンプ場、バーベキュー施設の開放を検討すること。
- (3) 国や県、南あわじ市では、様々な産業に対して支援が行われているが、それでも支援を受けることのできない事業者が存在する。新型コロナウイルスの影響を受けた事業者すべてが何らかの経済的支援を受けられるよう、支援策を講じること。
- (4) がんばろう南あわじキャンペーンについて、6月から7月の実績と観光業・飲食業等の状況を考慮し、有効な場合は8月以降の実施を検討すること。
また、感染拡大防止対策を徹底していることを示す安全マークを作成し、飲食店等の店頭でそのマークを掲示するなど、安心・安全をPRする方法を検討すること。

2. 教育について

- (1) 長期に及ぶ休校期間中の家庭学習の状況や学校からの課題提出の方法等について保護者にアンケート調査を実施し、得られた結果から課題の分析、解決方法の検証をし、第二波の到来に向けて備えること。

3. 市民生活について

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後も継続してマスクや消毒液が必要となる。住民税非課税世帯や新型コロナウイルスの影響により生活苦に陥っている生活困窮者へ、マスクや消毒液を購入するための商品券や現金等の給付を検討すること。
- (2) 南あわじ市では住民による音楽や芸術などを発表するイベントが盛んに行われてきた。しかし社会環境の変化によってイベントは軒並み中止となり、現在も文化・芸術に対しては未だ復興の目処が立っていない状況である。このままでは、これまで育んできたイベント文化が途絶えてしまうことも考えられるため、県のガイドラインに沿ったイベント実施の実現に向けて尽力すること。

4. 雇用について

- (1) 新型コロナウイルスの影響で、新卒採用に関する合同説明会やイベントが中止となっており、多くの学生が就職活動について先行きが見通せず不安を抱えている。来年度に向けた新卒者のための求職情報を発信するなど、学生が安心して就職活動できるよう支援すること。

5. 移住定住について

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大による自粛期間や新たな生活様式により、人々の価値観が大きく見直され、移住への関心が高まっている。この機会を逃さないよう、早期にウイズコロナ社会に適応した新たな移住施策を行うこと。